

公開情報資料

整理番号	2020.09-2	
研究課題名	当院における多発筋炎と皮膚筋炎の臨床像の比較・検討について	
研究期間	平成24年4月1日～令和2年7月31日	
研究目的	皮膚筋炎(DM)は自己免疫により、主に皮膚・骨格筋そして肺に炎症をきたす稀な疾患である。DMは多発筋炎(PM)なども含まれる特発性炎症性筋炎(IIM)という疾患スペクトラムに含まれている。最近の研究によって様々な特異抗体が発見されており、それぞれに特徴的な臨床像や予後の傾向が明らかになってきている。我々は過去8年間で岡山赤十字病院膠原病・リウマチ内科で診断・治療を行ったIIMの中でもPM・DMについての比較・検討を行った。	
研究方法	研究対象範囲	上記期間中に当院にて多発筋炎・皮膚筋炎として診断・治療された症例
	利用する情報等	年齢・性別・観察期間と転機・特異抗体・間質性肺炎の有無・ILDパターン・KL-6・CK・アルドラーゼ・フェリチンなどの検査結果、腫瘍の有無・筋力低下・嚥下評価など
	利用方法	電子カルテより抽出
	他機関への提供	なし
研究責任者	岡山赤十字病院 膠原病・リウマチ内科 小山芳伸	
問合せ先	岡山赤十字病院ホームページの[お問い合わせ]ボタンからメールにてお問い合わせください。	